

ふくしまオーガニック通信

～オーガニック・ランドふくしまをつくろう～

No. 29-1

平成29年8月1日

農業総合センター有機農業推進室
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm>
 TEL 0249581711 FAX 0249581730
 Facebook「オーガニックランドふくしま」

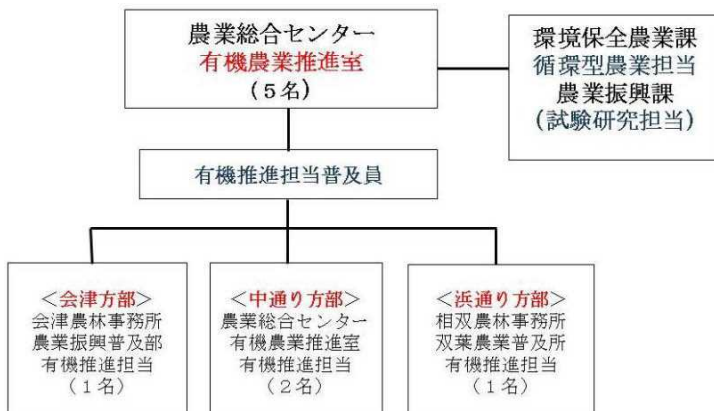


有機農業推進担当職員が新しくなりました！

農業総合センター有機農業推進室

平成29年度の福島県の有機農業推進体制に異動がありましたのでお知らせします。

本県の有機農作物の栽培面積拡大と販売推進を図るため、農業者の方々を支援していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



所属	職名	氏名	役割
有機農業推進室	室長	高橋 平	総括
	主任主査	穴澤 崇	中通り普及(作物)
	技師	浅野 千春	新 中通り普及(園芸)
	主任研究員	木村 稔	試験研究
	専門員	横井 直人	有機畑地力増進、研修対応
会津農林事務所	主任主査	吉田 佳充	会津普及
双葉農業普及所	主任主査	井出 忠行	浜通り普及
環境保全農業課	主任主査	岡崎 徹哉	資源循環型農業担当主任
	主査	穴戸 邦明	有機栽培、特別栽培
	主事	椎野 愛	新 エコファーマー



平成29年度現地技術実証ほの設置

農業総合センター有機農業推進室

有機農業に関する応用的技術の実証・確立や各地方の実態を踏まえた推進活動を展開するため、「環境にやさしい農業拡大推進事業」により各地方に技術実証ほを設置しました。

市町村名	生産者名	品目	実証ほ内容
二本松市	関 元弘	中玉トマト	省力的な誘引方法であるソバージュ栽培による中玉トマトの増収、作業性について実証
二本松市	柳瀬 聡一郎	キュウリ	ソルゴー障壁栽培によるキュウリ害虫防除技術の実証
泉崎村	社会福祉法人 ころん	水稲	明渠（間隔5m×5m×深さ50cm）設置による冬期間の水田乾燥化ほ場における雑草抑制技術の実証
北会津町	永島 幸俊	ミニトマト	バンカー法導入によるミニトマトの害虫防除技術の実証
只見町	山内 征久	水稲	除草機利用時における枕地での効果的な栽植密度の実証
原町	羽根田 薫	水稲	層大豆等有機物施用と適期の機械除草を組み合わせた効果の高い除草技術体系の実証
いわき市	小林 勝弥	野菜(オクラ、ソラマメ)	野菜類の畝間に麦類を播種したりビングマルチによる省力的な除草技術の実証

明渠設置による冬期間の水田乾燥化ほ場における 雑草抑制技術の実証〈社会福祉法人ころん 泉崎村〉

農業総合センター有機農業推進室

水稲有機栽培では、紙マルチ、アイガモ農法、チェーン除草や歩行型除草機により雑草を防除していますが、資材代にかかる経費や労力、雑草の抑制効果が課題となっています。

中通り地方において、水稲収穫作業後に二山耕起や明渠の設置等により、冬期間のうちに水田ほ場を乾燥化し、雑草の発生を効果的に抑制している事例が見られます。

今年度は、冬期間の耕種的雑草防除技術として明渠（おおむね深さ40cm×幅15cm、間隔縦5m×横5m）を設置し、水田ほ場の乾燥化による雑草の発生抑制効果を実証し、普及に向けた技術的課題を整理します。



額縁に明渠設置したがほ場に水が停滞
(H28. 12. 15撮影)



明渠の水深25cm
(H28. 12. 15撮影)



12/20碁盤の目に明渠設置
ほ場乾燥化 (H29. 2. 28撮影)



5/30田植 (無農薬・無肥料)
雑草の発生は極少 (H29. 6. 20撮影)

水稲有機栽培における除草機利用時の枕地・ 枕地以外の効果的な栽植密度の検討・実証

会津農林事務所農業振興普及部

水稲において乗用型除草機を利用する場合は、除草作業のために何度か水田内を走行することになりますが、枕地での旋回時に、田植機の車輪により株が倒伏、埋没し、欠株が発生するなどして、水稲の生育や収量にも影響を与えます。

そこで、本実証ほでは、現地で使用している(株)キューホーの改良型除草機(中古田植機に装着)を使用し、枕地の植付の有無や、枕地と内部の栽植本数を変えた場合の除草程度や収量への影響を調査し、上記除草機を使用する際の最適な栽植程度の目安を明らかにすることを目的としています。



6/3 実証ほの田植作業 (只見町)

浜通りにおける水稲・野菜の有機栽培実証ほ

相双農林事務所双葉農業普及所

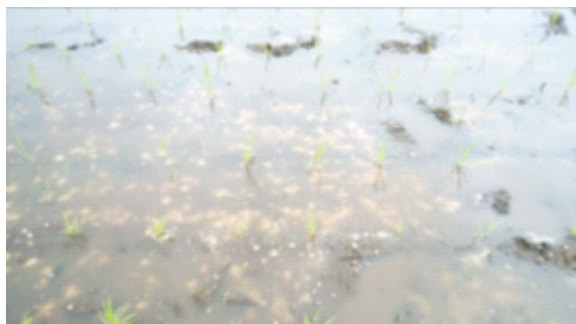
浜通り地方の有機農業は、震災前、広く進展していましたが、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、依然として、取組面積は大幅に減少した状況です。

一方、営農再開は、着実に進展しており、有機栽培を積極的に導入していくためには、効果の高い省力的な水田除草や畑の管理技術が必要です。

水田除草に係る屑大豆等有機物施用技術は、従来から有効との評価を受けているものですが、機械化体系と併せ、特に、株間の除草効果を高めるために実施しています。

また、野菜（オクラ）については、麦類（オオムギ）をリビングマルチとして畝間に播種し、除草効果と地力維持効果を期待しながら栽培しています。

実証ほにおける経過や成果は、浜通りをはじめとする県内農業者へ広く情報発信していきます。



左：水稲実証ほ 田植直後の有機質資材（くず大豆、米ぬかペレット）散布

右：野菜実証ほ（オクラ）リビングマルチ（オオムギ）出芽状況

低投入持続型水田（水稲）の試験研究を開始しました！

有機農業推進室

農業総合センター有機農業推進室では、今年度より低投入持続型の水稲栽培技術を確立するための試験を開始しました。試験のねらいは二つあります。一つは、雑草が発生しにくい管理技術（抑草技術）を実証すること。抑草技術は水稲有機栽培を持続するための必須技術です。もう一つは、外部から投入する資材を極力少なく（低投入）しつつも安定した収量を確保する技術を実証することです。

この試験は、昨年有機栽培技術セミナーで報告いただいた郡山市日和田町の石澤農園様の取組みをヒントに組み立てたものです。数年後、農業総合センター内の水稲有機栽培試験田として、皆様をお迎えできるよう取り組んでいきたいと思っております。



左：5/22 田植え（普及指導員基礎技術向上研修で活用されました。）

右：6/20 生育調査を開始。

『環境にやさしい農業拡大推進事業』について

環境保全農業課

有機農産物の生産安定化と生産量の拡大に必要な施設や機械の導入を支援するため下記の事業を実施します。

事業名	環境にやさしい農業拡大推進事業
募集期間	平成29年6月19日(月曜日)～ 平成29年11月20日(月曜日) 17時必着 毎月20日締めで申請を受け付けます。 ※応募状況については、下記にお問い合わせください。
支援内容	(1) 有機JAS認証拡大支援 有機JAS認証の <u>新期取得及び認証の継続に係る費用(注1)</u> を支援します。 (2) 環境にやさしい農産物供給体制の整備 有機農産物の生産規模や品目の拡大、出荷の安定化に向け有機農業者等が共同で利用(注2)する <u>施設・機械の導入(注3)</u> 経費を支援します。 ※(注1)有機JAS認証に直接かかる経費に限る。 (注2)農業者2戸以上で構成する組織等が利用主体であること。 (注3)機械・施設についてはH29年度内に利用計画があること。
支援対象者 (応募要件)	(1) 有機JAS認証拡大支援 有機JAS認証の新規又は認証の継続を希望する農業者(農業者組織)。但し、平成30年3月31日までに有機JAS認証の取得(認証継続)が条件となります。 (2) 環境にやさしい農産物供給体制の整備 施設や機械を共同で利用する <u>農業者(注4)</u> (2戸以上の農業者組織であること) ※(注4)「有機農業の推進に関する法律(平成18年法律第112号)」第2条に定める有機農業または福島県特別栽培農産物の認証を受けた生産に取り組み、5年以内に有機JAS認証の取得意向がある農業者等。
事業費・補助率	(1) 有機JAS認証拡大支援 新規取得：事業費の3/4以内、認証継続：1/2以内 (2) 環境にやさしい農産物供給体制の整備 導入経費(購入・設置)の1/2以内 (但し、事業上限額：2,000万円/事業)

※事業の詳細は、下記ホームページを参照ください。

(ホームページ) <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/youki-keikaku-04.html>

●応募・問い合わせ先

県北農林事務所：024-521-2603

県中農林事務所：024-935-1301

県南農林事務所：0248-23-1561

会津農林事務所：0242-29-5301

南会津農林事務所：0241-62-5644

相双農林事務所：0244-26-1148

いわき農林事務所：0246-24-6154

農業総合センター有機農業推進室：024-958-1711

農林水産部環境保全農業課：024-521-7453

農林水産分野イノベーション・プロジェクトに係る 水田除草ロボット現地検討会を開催しました

農業振興課

平成29年6月7日（水）に、広野町折木地区の水田にて、農林水産分野イノベーション・プロジェクトにおいて開発に取り組んでいる水田除草ロボットの現地検討会を開催しました。

県では、会津大学と連携し、小規模の水稲有機栽培等での活用を目指して水田除草ロボットの開発・改良を進めており、今年度は県内3カ所の現地水田で現地試験を実施しています。

今回は、試験ほ場の一つであり、除草のためにアヒルを導入して水稲有機栽培を実施している広野町の水田で現地検討会を開催し、農業者、近隣市町村、県関係者らで意見交換を行いました。参加者からは、「手軽に使用できるように改良してほしい」、「実用化まで開発を続けてほしい」といった意見が出され、実用化に向けた今後の開発・改良に向けて実りある検討会になりました。

※ 水田除草ロボットとは、水稲の「アイガモ農法」からヒントを得て開発された円筒状の自走式ロボットで、車体の左右について車輪で水田内を走り回りながら土壌を攪拌し、雑草を抑草・除草します。



《お知らせ》

○今年もセンターまつりを開催します！

9月8日（金）～9日（土）第12回農業総合センターまつりを開催します。

今年は、**米の食味試験**や**バター作り**などの様々な体験イベントをはじめ、**農業機械・資材展示販売**や**農業技術相談**なども実施しますので、ぜひご来場ください！

詳しくは、農業総合センターのホームページをご覧ください。

<http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/>

